

SGH企画：海外（ベトナム）研修 報告①

日程：平成27年10月11日(日)～15日(木)

訪問国：ベトナム社会主義共和国

訪問先：カイインダストリーズ(株)ベトナム工場、JICAベトナム事務所
在ベトナム日本国大使館、ダナン医薬技術大学

参加者：2年生8名、1年生7名、引率教員2名

10月12日(月) 10:00-11:30

カイインダストリーズ(株)ベトナム工場を訪問しました！



ハノイのカイインダストリーズ(株)
ベトナム工場入り口にて

中部国際空港を飛び立って5時間。私たちはベトナムの首都ハノイに降り立ちました。早速、ホーチミン廊、一柱寺、ホアンキエム湖といった名所をまわり、ベトナムの歴史や文化を肌で感じました。私たちを見つめるベトナムの人たちの眼差しはとても温かく、空港からの移動途中に「ベトナムによろこそ！楽しんでください！」と日本語で声をかけてくれる人もいました。ベトナムの人たちに対する親しみを強く感じると同時に、旅の疲れや緊張をほぐすことができました。

2日目の午前中、カイインダストリーズ・ベトナム工場を訪問しました。私たちは、事前研修として同社の常務取締役辻宏介様よりご講演をいただいております。関市の誇る刃物産業が、今や全世界に市場を広げ、ベトナムを含むアジア各地に工場を配置して刃物の普及に努めていらっしゃることを学習していました。そのうちの一つであるベトナム工場を直接見学することができるということで、期待と緊張感をもって、現地に向かいました。

今回の訪問では、工場長の河合良成様のご配慮により、会社の概要説明や工場内の見学だけでなく、かつては50%ほどもあった離職率を下げするための工夫や、女性従業員(とりわけ妊娠中の従業員)に対する配慮など、職場環境の改善のためのいろいろな方策とその効果についても学ぶことができました。

その後、第1工場と第2工場を案内していただき、



工場の概要説明を聞いている様子



ベトナム工場従業員の方々と座談会の様子



カミソリの細かなパーツが精密な機械によって見事に製品に仕上がっていく様子や、点検やパッケージングを黙々と手作業で続けるベトナム人従業員の方々の様子を拝見することができました。見学の要所要所で質問の時間も設けていただき、生産工程や労働状況について丁寧にお答えいただき、大変有意義な見学となりました。

訪問の最後には、ベトナム人従業員の方々と座談会を設けていただきました。日本の企業で働く上でご苦労されていることや、ベトナムの文化など、様々な話題で交流できました。直接ベトナムの方と会話ができる貴重な機会であり、ベトナムについて抱いていた疑問を解消できたり、ベトナムと日本の仕事に対する意識の違いを感じたり、学ぶことの多い座談会となりました。

最後は工場の正門前で記念撮影をしました。カイインダストリーズ・ベトナム工場の従業員の皆様、本当にありがとうございました。